



# チェコ共和国の投資環境



[www.czechinvest.org/jp](http://www.czechinvest.org/jp)

# チェコ共和国の投資環境

- 2 チェコへ投資する理由
- 5 魅力的な投資環境
- 6 チェコの基礎情報
- 7 外国直接投資の実績
- 8 在チェコ外国企業
- 9 主要産業と成長分野
- 12 財政支援(投資優遇措置)
- 13 M&A機会と現地調達
- 14 工業団地と不動産市場
- 16 国際関係・関税・ビザ
- 16 投資家の声



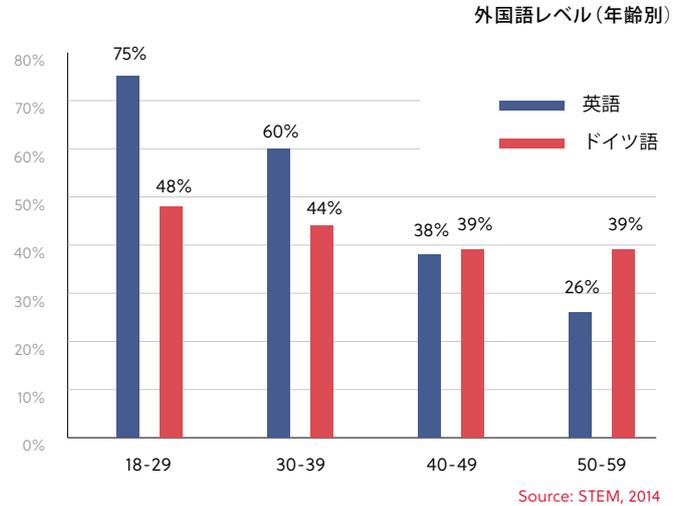
チェコインベストは、チェコ共和国・産業貿易省によって1992年に設立されたビジネス・投資開発庁です。

外国直接投資の誘致およびチェコにおけるビジネス環境の改善を主なミッションとする他、海外におけるチェコ共和国の振興やEU構造基金による中小企業間のビジネスサポートも提供しています。

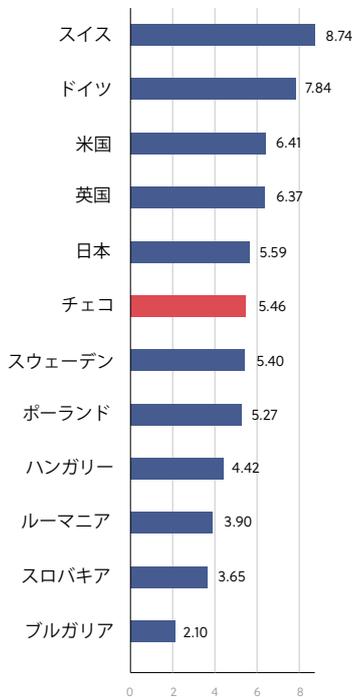
日本企業による投資活動の高まりを受け、1998年には日本オフィスを設置。欧州への生産・研究開発拠点の設立を目指す企業向けに、投資環境や産業動向に関する情報提供、工業団地の紹介、M&Aおよびサプライヤー候補の推薦、チェコ訪問時のミーティングアレンジや同行といった様々なサービスを無料で提供しています。

# チェコへ投資する理由

- + リスクの低い投資環境
- + 教養レベルの高い熟練労働者
- + 廉価な労働コストと価格安定性
- + 欧州の中心という好立地
- + 整備された質の高いインフラ
- + 透明性のある投資優遇措置
- + R&Dに対する手厚い支援
- + 安定した社会・政治体制
- + EU加盟国
- + 西欧に類似した知性と文化
- + 高レベルな生活水準



## 質の高いチェコの教育制度(2015年)



IMD Executive Opinion Survey based on a scale of 0 to 10 Source: IMD World Talent Report 2015, IMD World Competitiveness Centre, 2016

## 教養レベルの高い熟練労働者

IMD World Competitiveness Centre が発表した「IMD World Talent Report 2015」によると、チェコでは質の高い教育制度が整っており、特に製造企業へ向けて、生産性の高い優れた熟練労働者を多く輩出しています。1990年～1991年に118,000人であったチェコの大学生数は、2015年～2016年には326,909人へと増加。うち91,000人以上の学生は、技術系学部 に在籍しています。この飛躍的変化の理由として、教育制度改革の他、外国投資家にとって将来有望な人材源となる18歳～26歳の人口増加も挙げられるでしょう。STEM社が2014年に行った調査によると、18歳～59歳の年齢層で二か国語以上を話せるチェコ人の割合は72%にも上っています。

## 優れたR&D基盤

チェコは他国と比べ、研究開発に多くの資源を投下しています。過去20年間でGDPに占めるR&D支出の割合は0.95%から2% (2014年)へと上昇し、現在では Panasonic, Honeywell, Mercedes-Benz, Motorola, Rockwell Automation, Visteon といった数々の多国籍企業が、チェコで設計や開発を行っています。

歴史を遡ってみても、ソフトコンタクトレンズ、ノーベル化学賞を受賞したポーラグラフィー、抗 HIV 薬であるシドフォビル (Vistide®) や テノフォビル (Viread®) 等、世界的発見や開発・特許に関与したチェコ人は多く存在します。チェコではEU構造基金を財源とした、有能な研究者と最先端のインフラを有する新しい研究センターが設立されています。こういった欧州の中核的研究センターには、下記のような施設が挙げられます。

- + 生命科学・先端材料を扱う  
「中央技術研究所」(ブルノ市)
- + 心臓血管疾患や神経病の予防・早期発見・治療を行う「国際臨床研究所」(ブルノ市)
- + ITの研究を行う大規模なコンピューター施設  
「IT4Innovation」(オストラバ市)
- + サイエンスパーク「バイオテクノロジーとバイオ医学センター」(プラハ近郊)
- + 世界最強のレーザーを扱う「Extreme Light Infrastructure」(プラハ近郊)

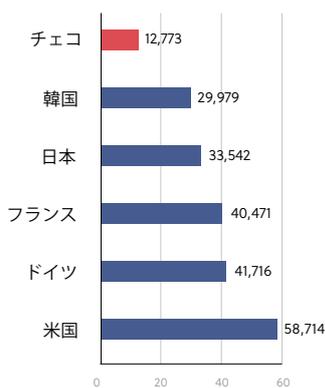
高等教育以上の学位を持つ人口割合 (25歳～64歳 / 2014年)



Source: Education at a Glance, OECD Indicators, 2015



年平均賃金 (USD / 2015年)



チェコ国内における賃金水準は地域ごとに異なっており(約20%の差)、最も高いプラハの賃金はチェコ平均を28%程度上回っています。

Source: OECD, 2016

廉価な労働コスト

チェコにおける魅力の1つとして、熟練労働者を西欧諸国と比べて遥かに低いコストで雇用できることが挙げられます。労働コストはアジア諸国の水準ほど低くないものの、西欧への地理的・文化的近接さや質の高いインフラといった利点を鑑みると、外国投資家にとってチェコは十分魅力的な投資先であるといえるでしょう。外国直接投資はチェコの国内ビジネスにもプラスの影響を与えており、サービスやモノの受託生産及び供給といった現地市場が充実してきています。

チェコにおける生活環境

1989年のビロード革命以降、チェコは人気の高い移住先となりました。チェコの生活水準は西欧に匹敵するレベルであるものの生活費は依然として低く、今では多くの外国人がチェコへ移住し、生活水準の高さと物価の安さを満喫しています。プラハをはじめとする多くの都市では、有名な建築遺産、博物館、劇場、映画館、美術館、歴史ある庭園やカフェを楽しめるだけでなく、常に様々なジャンルの音楽や素晴らしい伝統芸能といった多くの文化的イベントが開催されています。その他、プリティッシュ・カウンシルやゲーテ・インスティテュートといった外国文化センターも、数々のイベントやサービスを提供しています。

## 欧州の中心という戦略的立地と 発達したインフラ

欧州の中心に位置するチェコは、プラハからほとんどの欧州主要都市まで飛行機で2時間という抜群の立地を誇っています。チェコは、成熟した西欧市場へも新興の東欧市場へも容易にアクセス可能な「重要な経由地」として、投資家から評価されてきました。道路・高速道路網（全長 55,748 km、うち高速道路 1,228 km）は中東欧で最も高密度に張り巡らされており、現在は前欧州即鉄道ネットワークに連結する鉄道近代化事業も進行中です。

プラハからの週あたり直行便数

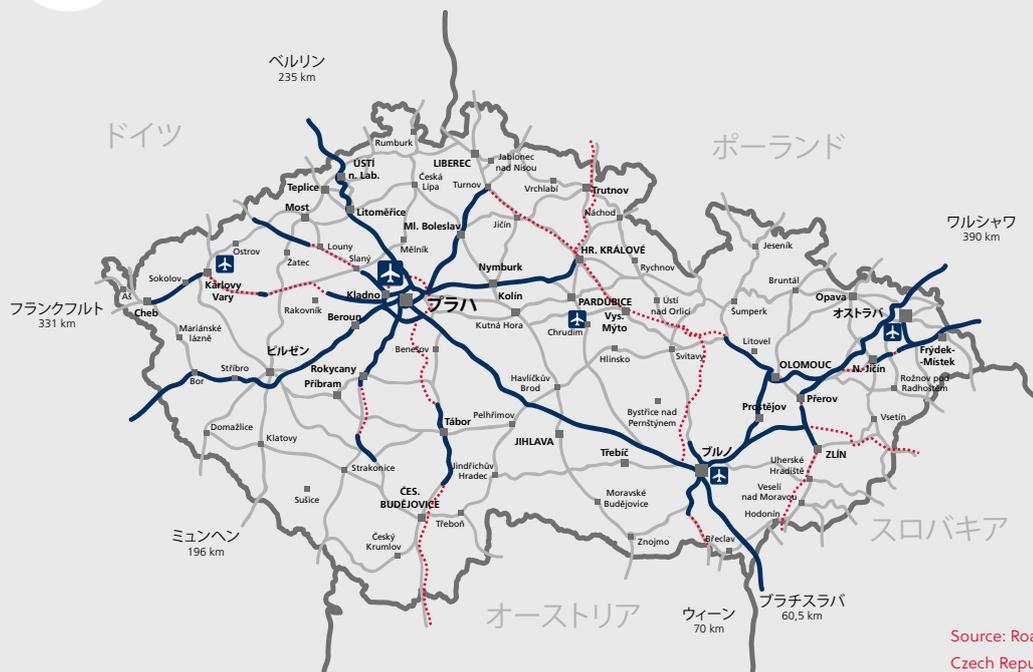
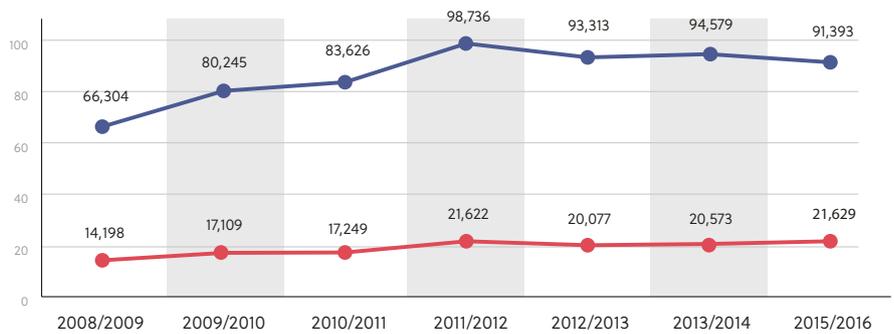
48	40	19	24	19	11	54
アムステルダム	ブリュッセル	ブダペスト	コペンハーゲン	ドバイ	ダブリン	フランクフルト
13	24	26	90	15	2	30
ハンブルク	ヘルシンキ	イスタンブール	ロンドン	マドリード	マルセイユ	ミラノ
60	27	6	11	61	23	2
モスクワ	ミュンヘン	ニューヨーク	オスロ	パリ	ローマ	リヤド
8	13	20	26	32	21	
ソウル	サンクトペテルブルク	ストックホルム	テルアビブ	ウィーン	チューリッヒ	

Source: Václav Havel Airport Prague, summer flight schedule 2016

## 技術系大学の 在学生数および卒業生数

- 在学生数
- 卒業生数

Source: Ministry of Education, Youth and Sport, 2016



## チェコのインフラ

- 高速道路
- ..... 高速道路 (未完成)
- 自動車道
- ✈ 空港

Source: Road and Motorway Directorate of the Czech Republic, 2016; CzechInvest, 2016

# 魅力的な投資環境

完全な議会制民主国家であるチェコは、中東欧諸国の中で最も発展した国の一つです。その一貫した経済政策とオープンな投資環境がチェコの経済移行期に重要な役割を果たしてきたことは、疑いの余地がありません。事実、1990年以降は巨額な外国直接投資（以下 FDI）の誘致に成功しており、国民一人当たり FDI 額は中東欧で最高となっています。国際的な格付け機関による高い信用格付けと OECD への早期加盟も、チェコの良い経済環境を裏付けていると言えるでしょう。

## 競争優位性

世界経済フォーラムが発表した「国際競争力ランキング 2016年～2017年」によると、チェコは138カ国のうち31位にランクインしています。

- + 貿易関税 (5位)
- + 外国資本の浸透率 (5位)
- + 政府支出の浪費度 (7位)
- + 輸出額の対GDP比 (8位)
- + 賃金決定の柔軟性 (13位)
- + 銀行の健全性 (14位)
- + 輸入額の対GDP比 (14位)
- + 現地における競争強度 (15位)
- + 非関税障壁の普及率 (16位)
- + 賃金および生産性 (18位)
- + 電力供給の質 (19位)
- + 現地サプライヤーの質 (21位)
- + 鉄道インフラの質 (22位)
- + 信用格付け (22位)
- + 外国直接投資と技術移転 (23位)
- + 職業訓練サービスの利用可能性 (24位)
- + 学校におけるインターネットアクセス (25位)
- + インターネットの普及率 (25位)
- + ビジネスニーズに合った金融サービス (27位)
- + 先端技術の利用可能性 (27位)
- + インターネット回線容量 (28位)
- + イノベーション能力 (29位)
- + 特許協力条約に基づく特許数および申請数 (29位)

## 投資保証制度

チェコは世界銀行・国際通貨基金 (IMF) グループの一部である多国間投資保証機関 (MIGA) に加盟しています。また、米国・ドイツ・英国・フランス・オーストリア・スイス・イタリア・ベルギー・ルクセンブルク・オランダ・フィンランド・ノ

ルウェー・デンマーク・中国といった国々と、外国投資を支援および保証する二国間条約を数多く締結。その他、日本を含む多くの国と二国間租税条約も締結しています。

## 信用格付け

国	Standard and Poor's	Moody's	Fitch
チェコ	AA-	A1	A+
スロバキア	A+	A2	A+
ポーランド	BBB+	A2	A-
ロシア	BB+	Ba1	BBB-
ブルガリア	BB+	Baa2	BBB-
ハンガリー	BBB-	Ba1	BBB-
ルーマニア	BBB-	Baa3	BBB-
日本	A+	A1	A

Note: Foreign currency long-term sovereign debt ratings  
Source: Czech National Bank, 2016

## 法人税の推移

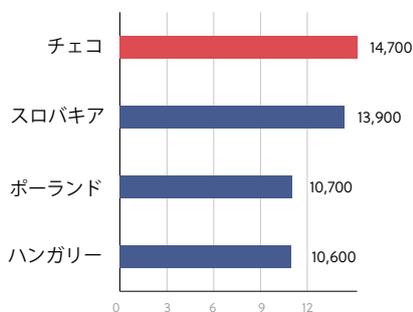
年	%
2005年	26
2006年	24
2007年	24
2008年	21
2009年	20
2010 - 2016年	19

Source: CzechInvest, 2016

# チェコの基礎情報

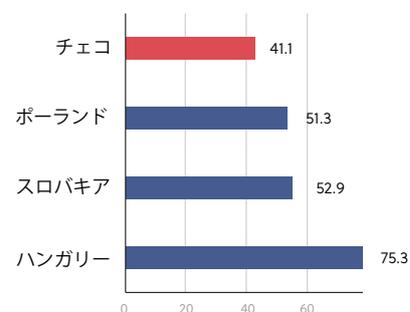
国土面積	78,864 km <sup>2</sup>
人口	1,060万人
労働人口	530万人
首都	プラハ
タイムゾーン	GMT + 1 (サマータイム GMT +2)
言語	チェコ語
主要都市人口	プラハ: 1,267,449人 ブルノ: 377,028人 オストラバ: 292,681人 ビルゼン: 169,858人

国民一人当たりGDP  
(EUR / 2014年)



Source: Eurostat, 2016

一般政府負債  
(対GDP比 / 2015年)



Source: Eurostat, 2016

## チェコ経済の現状と展望

経済指標	2011	2012	2013	2014	2015	2016 (推定)	2017 (推定)
GDP成長率(不変価格 %)	2.0	-0.8	-0.5	2.7	4.5	2.2	2.4
長期金利(国債 %)	3.7	2.8	2.1	1.6	0.6	0.6	0.8
平均インフレ率(%)	1.9	3.3	1.4	0.4	0.3	0.5	1.2
労働生産性(上昇率 %)	2.3	-1.2	-0.8	2.1	3.3	0.6	2.3
平均失業率(%)	6.7	7.0	7.0	6.1	5.1	4.1	4.0
平均実質総賃金(上昇率 %)	0.6	-0.8	-1.5	2.5	2.4	3.9	3.4
平均名目総賃金(月額 CZK)	2.5	2.5	-0.1	2.9	2.7	4.4	4.7
平均為替レート(JPY / CZK)	4.50	4.07	4.98	5.09	4.92	4.45 ※1月~10月	

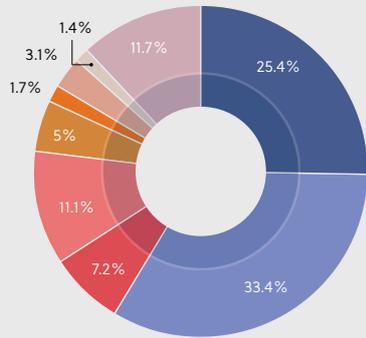
Source: Ministry of Finance, July 2016

EU加盟国であるチェコでは、EU法規が適用されています。商法・会計法及び破産法は西欧基準に準拠しており、チェコの通貨(コルナ / CZK)は自由に換金が可能です。また、投資に関する国際間取引(利益・印税等)も全て、迅速かつ自由に実施できます。不動産取得に際し必要であ

った法的要件(会社の所在地、チェコ国内の支店設立、事業活動資格の取得等)は撤廃されており、現在では全ての外国法人がチェコ現地法人と同様の条件下で制限なく不動産を取得できます。

# 外国直接投資の実績

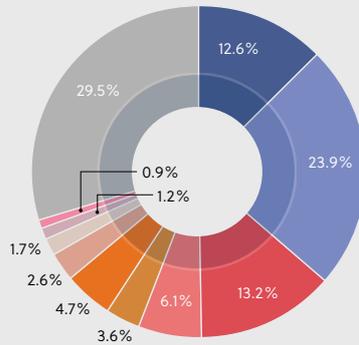
投資額累計: 1001億EUR / 1215億USD (1993年～2014年)



対チェコ直接投資 分野別内訳 (1993年～2014年)

- 金融仲介
- 製造業
- 不動産
- 貿易・ホテル・飲食
- 情報通信
- 輸送・保管
- 電気・ガス・水
- 建設
- その他

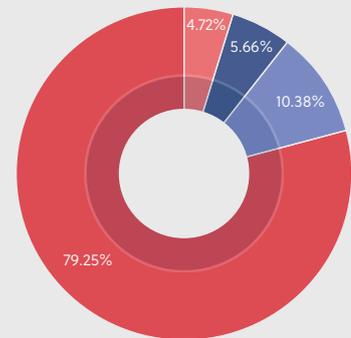
Source: Czech National Bank, 2016



対チェコ直接投資 国別内訳 (1993年～2014年)

- ドイツ
- オランダ
- オーストリア
- フランス
- 米国
- スイス
- 英国
- 韓国
- 日本
- スウェーデン
- その他

Source: Czech National Bank, 2016



チェコインベストが仲介した投資プロジェクト (2015年)

- ビジネスサポートサービス
- ICT (情報通信技術)
- 製造業
- テクノロジーセンター

Source: CzechInvest, 2016

## 対チェコ外国直接投資の現状

チェコは外国直接投資 (FDI) の誘致に多大な成功を収めてきました。チェコ中央銀行によると、1993年以降に行われた対チェコ FDI 額は総計1,000億 EUR にも上ります。これは1998年の投資優遇措置導入を契機にグリーンフィールド投資が加速したためで、その後実施された優遇措置の改定も更なる新規投資を促しています。

ウィーン国際経済研究所に依れば、チェコは経済的に高水準な国民一人当たり FDI を達成。低インフレ率、低金利、安定した通貨、堅調な

経済成長といった好条件を併せ持つ成熟した投資先として、グローバル企業から高い評判を得ています。

## 製造業から高付加価値プロジェクトへ

対チェコ FDI の構造は、急激な変化を遂げられました。近年では、従来の製造業のみならず、研究開発やビジネスサポートサービスといった高付加価値プロジェクトへの投資が増加。チェコは現在、これまでにない全く新しい経済へと移行の局面を迎えています。

## 在チェコ外国企業の実績

チェコへは 100,000社を超える外国企業が進出しています。トヨタ自動車やパナソニックをはじめとする日本企業に加え、ABB, Continental, Danone, Ford, Nestle, IBM, DHL, Astra Zeneca, Rockwell, Procter & Gamble, Renault, Siemens, Tyco, Honeywell, Amazon, Volkswagen といった産業を牽引するグローバル企業の数々が、チェコに生産・研究開発拠点を構えています。

## 国民一人当たり外国直接投資額 (EUR)

国	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
チェコ	7,380	7,798	8,347	9,169	8,870	9,838	9,383
ハンガリー	6,475	6,226	6,851	6,804	6,654	7,921	8,163
ポーランド	3,043	2,895	3,184	4,002	3,816	4,427	4,687
スロバキア	5,405	6,731	6,766	6,985	7,434	7,818	7,903
ブルガリア	3,428	4,240	4,604	4,796	4,998	5,123	5,266
ルーマニア	2,073	2,387	2,463	2,603	2,744	2,953	3,070

Source : wiiw FDI Report 2014, The Vienna Institute for International Economic Studies, 2016

## 在チェコ外国企業

対チェコ FDI の構造変化により、高付加価値プロジェクトへの投資は年々増加傾向にあります。新規投資家のみならず、過去に生産拠点を設立した既存投資家も、より付加価値の高い研究開発やビジネスサポートといった高付加価値拠点をチェコへと移転しています。

産業	企業名	出身国
航空宇宙	GE Aviation	米国
	Honeywell Aerospace	米国
	Latecoere	フランス
	Textron	米国
	UGMK	ロシア
自動車	Hyundai	韓国
	Johnson Controls	米国
	Robert Bosch	ドイツ
	トヨタ自動車 / プジョーシトロエン	日本 / フランス
	Volkswagen	ドイツ
ビジネスサポートサービス	Accenture	米国
	DHL	ドイツ
	IBM	米国
	Infosys	インド
	SAP	ドイツ
エレクトロニクス・電気工学	ABB	スイス
	Bang & Olufsen	デンマーク
	Foxconn	台湾
	On Semiconductor	米国
	パナソニック	日本
エネルギー・環境	Bilfinger	ドイツ
	Doosan	韓国
	Mavel	米国
	Solar Turbines	米国
	Vyncke	ベルギー
機械エンジニアリング	Bombardier	カナダ
	ダイキン工業	日本
	Edwards	英国
	Ingersol Rand	米国
	Siemens	ドイツ

産業	企業名	出身国
情報通信技術	Microsoft	米国
	NetSuite	米国
	RedHat	米国
	SolarWinds	米国
	Tieto	フィンランド
生命科学	Lonza	スイス
	Nanotherapeutics	米国
	大塚製薬	日本
	Sanofi	フランス
	Teva Pharmaceutical Industries	イスラエル
ナノテクノロジー・先端材料	旭硝子	日本
	FEI Company	米国
	Fibertex Nonwovens A/S	デンマーク
	Saint-Gobain	フランス
	東レ	日本



## 主要産業と成長分野

### 01

#### 航空宇宙

グローバル航空宇宙サプライチェーンの中で、チェコは欠かせない技術を持つパートナーとして認識されてきました。近年では特に、旅客機、エンジン、システム等へ統合可能な「チェコにおける構成部品の開発力」が高く評価されています。高度な工学技術、優れた研究開発施設、熟練技術者、政府によるサポートといった産業

基盤はもとより、あらゆる気候にも耐え得る製品への高い評判と信頼が、世界におけるチェコの競争力向上と技術開発の実現に貢献していることは間違いありません。チェコは欧州宇宙機関 (ESA) の中核メンバーでもあり、欧州全地球航法衛星システムの監督庁本部がプラハに設置されています。

自動車生産の長い伝統と世界的競争力を誇るチェコは、世界で最も自動車の生産・設計・研究開発拠点が密集している国の一つです。世界15位および中東欧1位を誇るチェコの自動車生産台数は、2015年に130万台を突破。人口1,000人当たり自動車生産台数(2015年)も123台と、高い数字を叩き出しています。チェコ

の自動車産業は現在、全製造業生産高と輸出高の20%を占める第一の産業として、15万人以上を雇用。世界 TOP100 にランクインする Tier 1 サプライヤーのうち半数以上がチェコで操業していることも、こういった産業の長期的卓越性を裏付けていると言えるでしょう。

### 02

#### 自動車

# 03

## ビジネスサポート サービス

各国で国境を越えた投資競争が激化する中、チェコは世界でも有数の投資先として確固とした名声を確立してきました。中東欧のビジネスサポートサービス分野を牽引するチェコでは、首都プラハ以外でも財務・会計・IT・カスタマーサポートといったシェアードサービスへの投資が多く行われています。これまでDHL、Accenture、ExxonMobil、IBMをはじめとする200社以上のグローバル企業が、65,000人以上の雇用を創出。チェコへ拠点を持つ外国企業のうち、約80%は企業専属業務を、他20%はBPO(業務委託)を行っています。

チェコにおけるエレクトロニクス分野の成功は、その長い産業伝統と熟練技術者の存在に支えられてきました。チェコはオプトエレクトロニクス、半導体、家電製品、ロボティクスの製造および研究開発を最も得意としており、伝統に基づく優れた技術が多様な製品へと応用されています。製造業生産高の14%を占めるエ

レクトロニクス産業は、チェコ第二の産業として180,000人の雇用を生み出してきました。業界に従事する17,000社の企業は、他産業向け製品に加え、独自のソリューションを持つ最終消費者向け製品も生産。国内のみならずEU圏全ての国へ輸出を行っています。

# 04

## エレクトロニクス・ 電気工学

チェコでは“Smarter and Cleaner Europe”という7億人以上の欧州市場を見据えたEU戦略を達成するため、環境保護や省エネを実現する新技術や設計・製造に対し、EU基金と国家予算の双方から財政支援が行われています。現在では、工業廃棄物の再利用や再生可能エネル

ギーの利用拡大をはじめとし、スマートエネルギー供給システムによる省エネといった技術にも注力。その優れた生産技術や費用効率性は世界的に高く評価されており、チェコは投資に最適な国として着目されています。

# 05

## エネルギー・環境

第三の製造業として長い伝統を誇る機械エンジニアリング分野は、工業生産において有能な技術者を多く輩出し、チェコ経済の礎を築いてきました。CZ-NACE 28に分類されるエンジニアリング分野には現在、最大の資産である約115,000人の熟練技術者が従事しています。タービン、輸送機器、エアコン、農業機械、食品加

工機械、建設機械、工作機械といった様々な製品を扱う6,700以上の関連企業の功績により、製品ポートフォリオは継続的に拡張。チェコの機械エンジニアリング産業は伝統的輸出志向型産業として非常に競争力が高く、80%~90%の製品が輸出向けに生産されています。

# 06

## 機械 エンジニアリング

# 07

## 情報通信技術

欧州各国の中でも情報通信技術 (ICT) 分野への投資が活発に行われてきた、チェコ共和国。Microsoft、Skype、DHL、Tieto、Red Hat、SolarWinds、IBMをはじめとする世界トップのICT企業や研究者らが、チェコの技術レベルを高く評価し、高付加価値プロジェクトによる投資を行ってきました。また、アンチウイルスソフ

トを開発し一躍有名となったAVGやAVAST等、チェコ発ICT企業の活躍にも目を見張るものがあります。チェコはラテン文字を使う国々においてGoogle以外の現地インターネットサーチャ・プロバイダ (Seznam.cz) が首位に立つ唯一の国となっています。

メンデルによる「遺伝の法則」の発見、ソフトコンタクトレンズの発明、抗エイズ薬の複合材開発といった素晴らしい功績を遺したチェコは、生命科学分野における製造及び委託研究開発の集積地となっています。特許保護、GMP（適正製造基準）GLP（優良試験所基準）GCP（医薬品の臨床試験実施基準）といった世界基準へ

の適合、比較的制限の緩い遺伝子工学、研究開発や産学間における知識移転をサポートする政府政策が、生命科学分野における発展を助長してきたことは間違いありません。チェコで取得した許認可は、5億人の市場を抱える全てのEU諸国で有効となっています。

# 08

## 生命科学

# 09

## ナノテクノロジー・ 先端材料

過去10年に渡り、ナノテクノロジー分野は多様な産業への適用可能性を持つ技術として、世界的注目を浴びてきました。電子顕微鏡の発見に代表される長い産業伝統や、ナノファイバー技術に関する最先端の研究インフラを誇るチェコは、ナノテクノロジー分野でも世界的名声を獲得しています。特に先端材料技術は外国

企業からの評価も高く、Fibertex Nonwovens A/S（不織布地）、東レ（水なし平板）、AGC旭硝子（最先端ガラス）といった業界を牽引する企業がチェコに生産拠点を保有。その他、Saint-Gobainグループもチェコ数か所に支店を置き、多額の投資を行っています。



# 財政支援

チェコ政府は新規投資家および既存投資家向けに、投資費用の最大25%を上限とする財政支援を提供しています。主な財源は「投資優遇措置」によるものですが、研究開発拠点、イノベーション事業、ICT・ソフトウェア開発拠点の設立といった特定の活動に対しては、EU構造基金による財政支援も適用されます。

## 投資優遇措置

投資優遇措置は、下記分野における新規投資および拡張投資を対象に交付されます。

- + 製造業
- + テクノロジーセンター
- + ビジネスサポートサービスセンター
  - + ソフトウェア開発センター
  - + シェアードサービスセンター
  - + ハイテクリペアセンター
  - + データセンター
  - + カスタマーサポートセンター (コールセンター)

財政支援は、投資優遇措置法に準拠し、プラハを除く全地域に適用されます。受給可能な投資優遇措置の種類は右記の通りです。

## 投資優遇措置の種類

法人税免除	新規企業: 最大10年間の法人税免除 既存企業: 最大10年間の法人税軽減
雇用創出補助金	新規雇用創出に対する助成金(※ 特定地域のみ) 新規雇用一人あたり 100,000 ~ 300,000 CZK を支給
職業訓練補助金	新規雇用者の訓練・再訓練に対する助成金(※ 特定地域のみ) 職業訓練および再訓練活動に要した費用の 25% ~ 50% を支給 ⇒ 国家補助限度率(投資費用の最大25%)を超えて支給可能
設備投資への助成金	製造業およびテクノロジーセンターにのみ適用(※ 戦略的投資のみ) 適格コストの最大10% 且つ 5億CZK を上限として支給 ⇒ 戦略的投資(大型投資)の要件については13ページ上部参照
不動産税免除	特別工業団地(SIZ)における最大5年間の不動産税免除 ⇒ 特別工業団地はチェコ政府によって指定された国有工業団地を指す

Source: Investment Incentives Act, amendment of May 2015

## 一般適格要件

製造業	テクノロジーセンター	ビジネスサポートサービスセンター
最低投資額: 5000万 ~ 1億 CZK (※地域により異なる)	最低投資額: 1000万 CZK	最低投資額に関する要件はなし
総投資額の 50% が新品機械への投資であること	総投資額の 50% が新品機械への投資であること	チェコ以外に最低2カ国へサービスを提供する事業であること
新規雇用創出数: 20人	新規雇用創出数: 20人	新規雇用創出数 ソフトウェア・IT開発: 20人 データセンター: 20人 シェアードサービス: 70人 ハイテクリペアセンター: 70人 カスタマーサポート: 500人

Source: Investment Incentives Act, amendment of May 2015

チェコインベストへの申請書提出前に、いかなる資産の取得も行わないこと。申請書提出前に行われた機械発注や着工は投資として見なさ

れない。また、投資優遇措置の承認が下りてから3年以内に、上記要件を満たす必要がある。

## 適格コスト

新品機械への投資が半分以上を占める「固定資産への投資額」または新規雇用者に対する「2年間の総賃金」が適格コストとして見なされ、これを基に優遇措置の上限(国家補助限度額 = 適格コストの25%)が算出されます。投資家はどちらかを自由に選択できますが、製造業

の場合は「固定資産への投資額」のみが適格コストとして認められます。

## 適格コスト(戦略的投資)

製造業における戦略的投資とは、有形・無形固定資産への投資額が5億CZK以上(うち半分以上が新品機械への投資)、且つ500人以上の新規雇用を創出する大型投資を指します。

規雇用を創出する大型投資を指します。

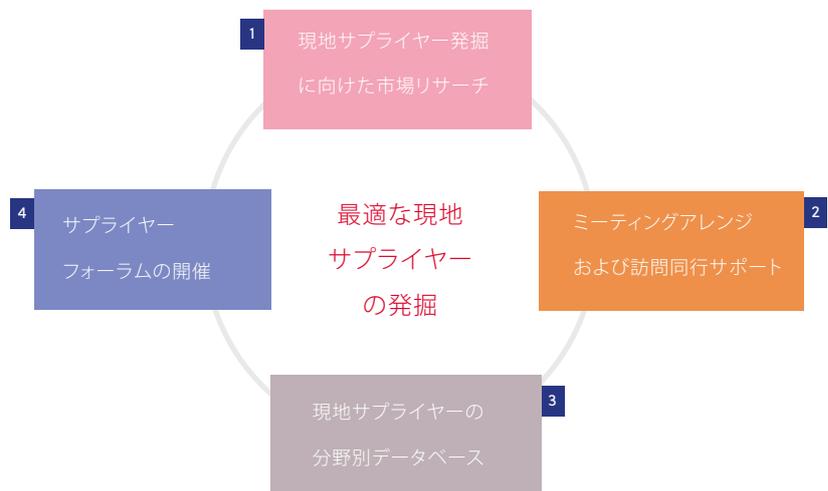
テクノロジーセンターにおける戦略的投資とは、有形・無形固定資産への投資額が2億CZK以上(うち半分以上が新品機械への投資)、且つ100人以上の新規雇用を創出する大型投資を指します。



# M&A機会と現地調達

## 現地調達

欧州での生産活動を成功へ導くには、サプライヤーネットワークの構築が欠かせません。チェコインベストでは、個別企業のニーズに合わせた現地サプライヤーの紹介のみならず、候補企業とのミーティングアレンジや同行・通訳といったサービスも行っています。詳細は [suppliers@czechinvest.org](mailto:suppliers@czechinvest.org) までお問い合わせください。



## サプライヤーフォーラム

一度に様々な製品の調達先を探しているグローバル企業(製造業)のため、チェコインベストでは要望に応じてサプライヤーフォーラムをはじめとするB to Bイベントを開催しています。また、チェコインベストでは、最適なサプライヤー発掘のため、独自の現地サプライヤーデータベースを保有。約3,500社(製造業及びIT企業)の情報が右記10種類のカテゴリーに分類されており、<http://suppliers.czechinvest.org> から自由に閲覧可能となっています。



エンジニアリング



ヘルスケア・医薬品  
バイオテクノロジー



情報通信技術 (ICT)



航空宇宙



受託製造(樹脂)



受託製造(金属)



材料・包装



自動車



エネルギー



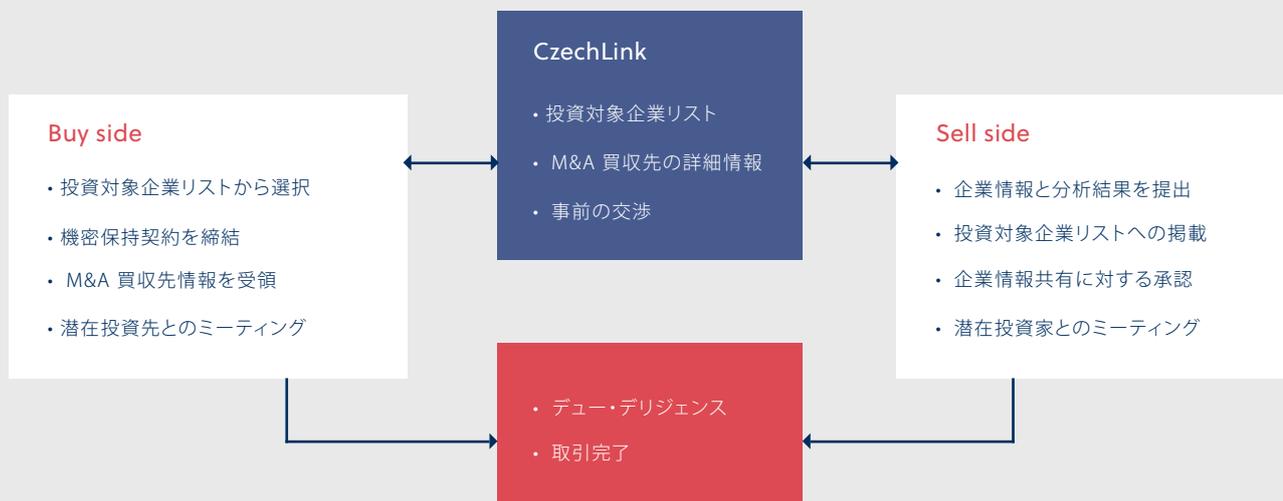
エレクトロニクス  
電気工学

## M&A とジョイントベンチャー

2010年以降、チェコインベストは CzechLink と呼ばれるプロジェクトを実施してきました。ジョイントベンチャーパートナー及び買収先を探している外国投資家と、戦略的パートナーを

探しているチェコ企業のマッチングを目的としたCzechLinkは、「製造業」「IT企業」「スタートアップ企業」の3分類で構成。CzechLink のデータベースに最適なパートナーがない場合は、個々の条件に合わせて潜在パートナーや

買収先のサーチ、また訪問時のミーティングアレンジも行っていきます。CzechLink プロジェクトの概要や参画企業の情報については [www.czechlink.org](http://www.czechlink.org) をご覧いただくか、[czechlink@czechinvest.org](mailto:czechlink@czechinvest.org) までご連絡ください。



## 工業団地と不動産市場

不動産投資家からの継続的な投資により、チェコは非常に発達した不動産市場を誇っています。地方自治体の所有する産業用地や工業団地の開発をサポートするチェコ政府プログラムにより、これまでに多くの産業用地が開発されてきました。

Ernest & Young は European Attractiveness Survey 2015 で、チェコを英国・フランス・ドイツと並ぶ11番目に魅力的な国だと評価しました。これは、近年における産業用地の需要向上を説明する重要な調査結果だと言えるでしょう。

工業団地の開発は、1998年以降、国家予算による様々なプログラムや財政支援を通じてサポートされてきました。工業団地の整備における最も大事な項目としては、土地資産構成の明確化や輸送手段及び技術インフラの導入が挙げられます。

チェコインベストが所有する不動産データベースには、下記の土地情報が含まれています。

- 364** 工業団地
- 301** 工業パーク
- 17** サイエンスパーク
- 168** 事務所用地
- 509** ブラウンフィールド

### チェコインベストの土地紹介サービス

- + チェコの不動産市場に関するコンサルティング
- + 政府助成金およびEU基金による財政支援コンサルティング
- + 投資家の条件に合わせた産業用地や工業団地の選定
- + 土地視察時の旅程表作成と同行
- + 不動産データベースの管理と更新
- + ビジネス用地市場のモニタリング

産業用地の賃貸料 (EUR/m<sup>2</sup>/月)

州(チェコ)	賃貸料* (EUR/m <sup>2</sup> /月)
中欧ボヘミア	3.50-4.25
フラデツ・クラークロヴェー	3.50-4.00
カルロヴィ・ヴァリ	3.50-4.00
リベレツ	3.75-4.25
モラビア・シレジア	3.50-4.00
オロモウツ	3.50-4.00
パルドビツェ	3.50-4.00
ピルゼン	3.50-4.25
ブラハ	3.50-5.00
南ボヘミア	3.50-4.00
南モラビア	3.50-4.25
ウースティー	3.50-4.25
ヴィソチナ	3.50-4.25
ズリーン	3.50-4.00

Source: CBRE Research, 2016

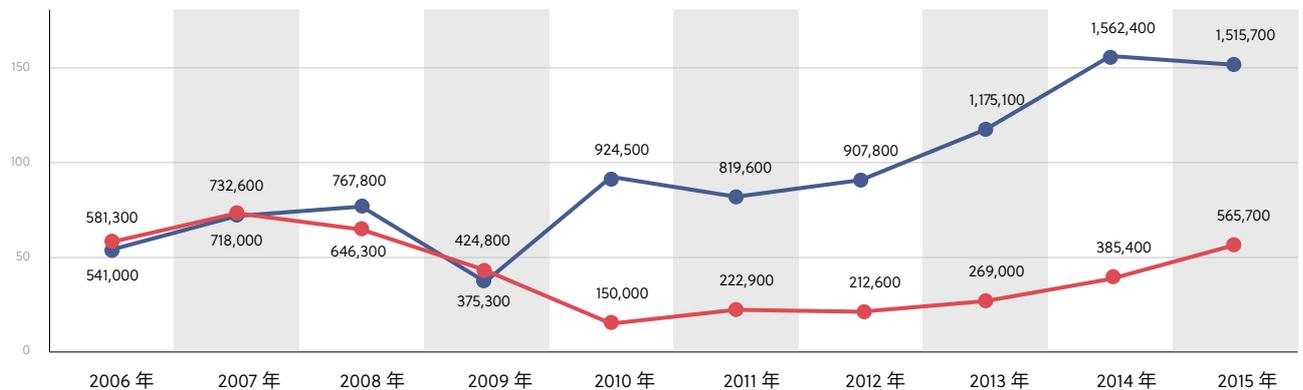
\* 2,000-5,000 m<sup>2</sup>

事務所用地の賃貸料 (EUR/m<sup>2</sup>/月)

地域	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
ブラハ市内	20-21	20-21	19.5-20.5	18.5-19.5	18.5-19.5
ブラハ市街地	15-17.5	15-17.5	15-17.5	15-17.0	15-16.5
ブラハ郊外	13-14.5	13-14.5	13-14.5	13-14.5	13-14.5
ブルノ	10-14	10-13.5	10-13.5	10-12.5	11-13
オストラバ	10-12	10-11.5	10-11.5	10-11.5	10-11.5
ピルゼン	10-11	10-11	10-11	10-10.5	10-10.5
オロモウツ	9-10	9-10	9-10	9-10	9-10
フラデツ クラークロヴェー	9-10	9-11.5	9-11.5	9-10.5	9-10.5
ウースティー	9-10	9-10	9-10	9-10	9-10

Source: CBRE Research, 2016

産業用地の主要指標



Source: CBRE Research, Industrial Research Forum, 2016

● 年供給面積 (m<sup>2</sup>)

● 総利用面積 (m<sup>2</sup>)

事務所用地の主要指標



Source: CBRE Research, Industrial Research Forum, 2016

● 年供給面積 (m<sup>2</sup>)

● 総利用面積 (m<sup>2</sup>)

# 国際関係・関税・ビザ

中東欧初の経済開発協力機構 (OECD) メンバーであるチェコは、2004年5月にEUへ加盟。2007年12月21日にはシェンゲン圏に登録されました。その他、北大西洋条約機構 (NATO) をはじめとし、世界貿易機関 (WTO)、欧州復興開発銀行 (EBRD)、世界知的所有権機関 (WIPO) といった国際組織の一員でもあります。

## 関税義務

EUへの加盟を契機に、EU圏内の国境における関税検査が廃止されました。非EU加盟国との国境をもたないチェコでは、主要国際空港 (プラハ、ブルノ、カルロヴィ・ヴァリ、オストラバ) のみで関税検査や手続きを実施。EU圏内においては自由に物品の移動を行うことができます。

## ビザの種類

### EU加盟国

EU加盟国及びノルウェー・アイスランド・リヒテンシュタイン・スイス間においては自由移動が認められており、ビザまたは労働許可なしでも就労可能となっています。2004年5月1日のEU加盟以来、チェコで労働を行うEU国民は、所轄外国人警察署への登録のみが義務付けられています。

### 非EU加盟国

上記に記載した国以外の国民がチェコへ入国する場合は基本的に、「短期滞在ビザ」「長期滞在ビザ」「就労カード」「ブルーカード」のいずれかを取得する必要があります。短期滞在ビザはシェンゲンビザとも呼ばれ、連続する180日間のうち、チェコを含むシェンゲン圏への滞在が最大90日間認められています。(但し、アメリカや日本を含む特定の外国人は、非営利目的の短期滞内に限り、90日間以内であればビザなしでの滞在が可能)

90日以上滞するには、長期ビザあるいは就労カードを取得する必要があり、これらはいずれも繰り返し延長が可能です。滞在許可証と労働許可証を併せ持つ労働ビザとして数年前に導入されたこの就労カードは、職種や資格を問わず、長期労働を目的とした滞在に対して交付されます。就労カードの申請には、チェコ在外公

館に本人が申請書を持参しなければなりません。また、就労カードの有効期限は、雇用期間と同じかつ最大2年を超えない範囲と定められています。高い技能を持つ外国人労働者は、ブルーカード (滞在許可証と労働許可証を併せ持つ労働ビザ) への申請も可能です。ブルーカードは高い技術を必要とする長期労働に対し発行されるビザで、申請に際してはチェコ平均賃金の1.5倍以上に相当する賃金 (月収または年収) が雇用契約に明記されていなければなりません。有効期限は雇用契約期間+3か月かつ最大2年を超えない範囲と定められており、繰り返し延長が可能です。

# 投資家の声

## Ramanath Ramakrishnan

**Chief Technology Officer and Executive Vice President, Eaton**

Eaton が欧州イノベーションセンターをプラハに設置した主な理由には、大型顧客への近接さ、世界レベルの技術、チェコ政府による継続的支援が挙げられます。

また、Eaton は既にチェコへ車両グループの生産拠点 (フムトフ市) および電気関連施設 (プラハ市、スフドル・ナド・ルジュニツィ市) を持っており、欧州イノベーションセンターがそれらを含む既存の欧州拠点からアクセスの良い位置にあったことも、大きな理由であったと言えるでしょう。

## Radovan Musil

**Development Centre Director, Red Hat Czech s.r.o.**

チェコのオープンソース・コミュニティに属する優秀なエンジニア及び教養の高い大学の存在は、Red Hat のビジネスを成功へと導く十分な技術的土台を提供してくれています。

## David Mansfeld

**Director of Johnson and Johnson SSC**

プラハを SSC の本拠地に選んだ理由には、外国語能力の高い有能な人材、マクロ経済の安定性、発達したインフラ等が挙げられます。チェコインベストとの密接な連携や、それによって得られた政府からの投資支援も、チェコへの最終投資決定を促した大きな要因でした。

## Paul Kaye

**Managing Director of Rolls-Royce Central and Eastern Europe**

Rolls-Royce が1990年代半ばに中東欧市場への参入を決定した際、チェコへ投資を行ったのは至極当然の選択でした。プラハは中東欧に本社を構えるための絶好のうちに会っただけでなく、インフラも十分に整備されていました。現在私たちは、プラハを拠点に19カ国へと、民間・防衛航空宇宙産業、海洋産業、民謡原子力産業を跨ぐビジネスを展開しています。

## チェコインベストのサービス

- + チェコの投資環境および産業動向に関する情報提供
- + 投資優遇措置やEU構造基金による財政支援コンサルティング
- + 工業団地の選定
- + 現地サプライヤーおよび M&A 対象企業の紹介
- + 視察訪問時の旅程表作成と同行
- + アフターケアサービス

チェコインベストはチェコ産業貿易省の外郭団体(ビジネス・投資開発庁)として、助成金受給のための提案書を作成し、所轄機関に投資優遇措置の申請を行うことのできる唯一の窓口となっています。日本を含む数カ国に海外拠点を置き、潜在投資家に向けて、チェコのビジネス環境、投資環境、投資機会に関する最新情報の提供を無料で行っています。

## チェコインベストのミッション

- + 新規投資家および既存投資家に対するコンサルティング
- + チェコ経済の競争力向上に対する支援
- + 外国投資家、政府当局、チェコ企業間におけるコミュニケーションの円滑化



**チェコインベスト本庁  
および海外オフィス**

**チェコ**

Phone: +420 296 342 500  
E-mail: [fdi@czechinvest.org](mailto:fdi@czechinvest.org)  
Stepanska 15, 120 00 Prague 2

**日本**

Phone: 03-5485-8266  
E-mail: [tokyo@czechinvest.org](mailto:tokyo@czechinvest.org)

**ドイツ**

Phone: +49 211 250 56 190  
E-mail: [germany@czechinvest.org](mailto:germany@czechinvest.org)

**中国**

Mobile phone: +86 13817792614  
E-mail: [china@czechinvest.org](mailto:china@czechinvest.org)

**韓国**

Phone: +82 2 720 6080  
E-mail: [seoul@czechinvest.org](mailto:seoul@czechinvest.org)

**スκανジナビア**

Phone: +420 296 342 809  
E-mail: [scandinavia@czechinvest.org](mailto:scandinavia@czechinvest.org)

**英国・アイルランド**

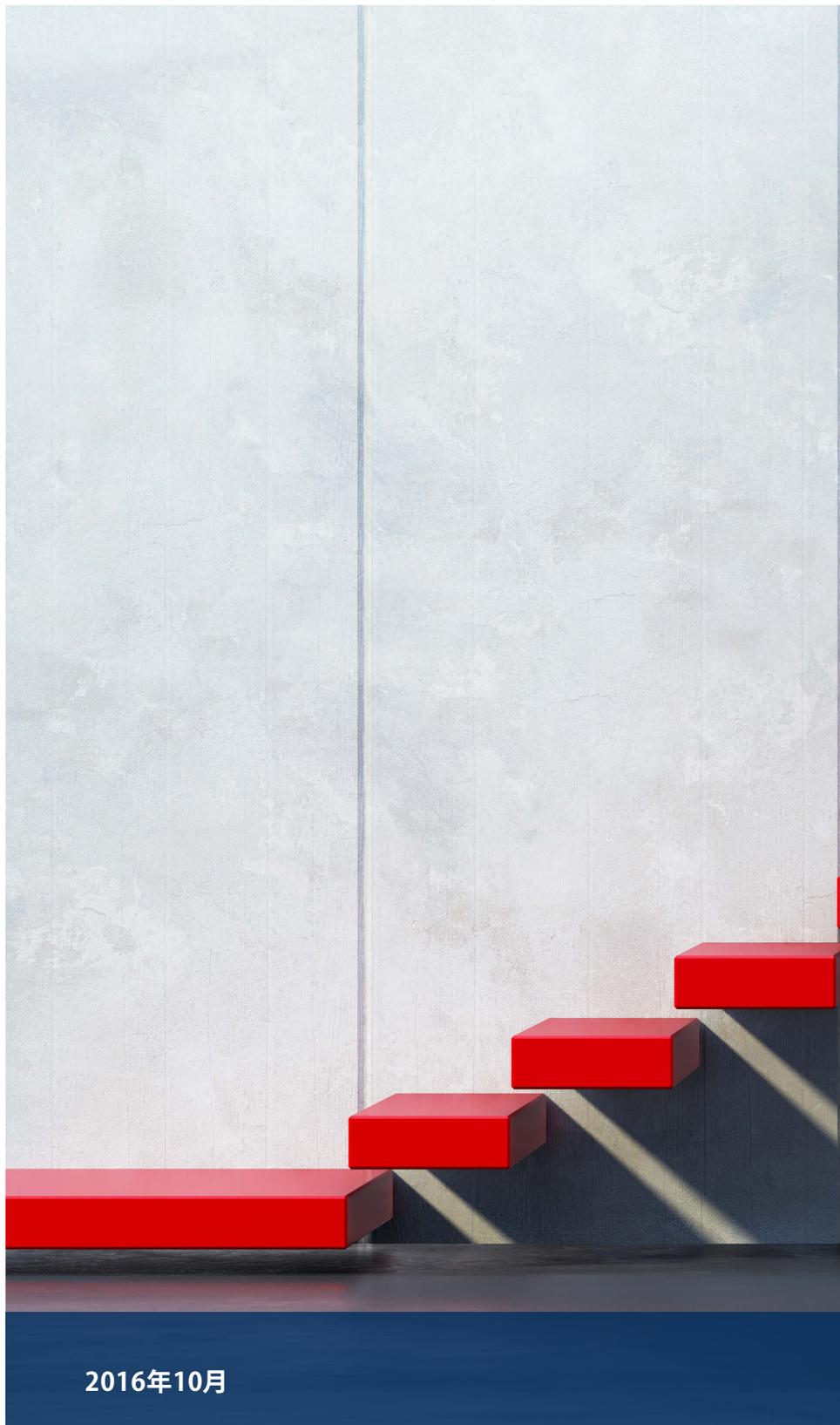
Phone: +44 20 8748 3695  
Mobile phone: +44 77 8523 1520  
E-mail: [london@czechinvest.org](mailto:london@czechinvest.org)

**米国(東海岸)**

Mobile phone: +1 (347) 789 0570  
E-mail: [newyork@czechinvest.org](mailto:newyork@czechinvest.org)

**米国(西海岸)**

Mobile phone: +1 (415) 794 0665  
E-mail: [california@czechinvest.org](mailto:california@czechinvest.org)



2016年10月